



**ROTARY
CONNECTS
THE WORLD**

Stand by You

～あなたと共に～

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー **四宮 孝郎**



2019—2020 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 8月号 Vol.2

CONTENTS

ガバナーメッセージ(会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて)	1
会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって	2
2019—20年度 RI第3地域戦略計画推進セミナー 報告	3
青少年交換委員会 来日生・派遣生歓送会 報告	4
2019年度ロータリー米山奨学生学友会関西総会 及び 新規奨学生歓迎会 報告	5
ロータリー学友会総会 報告	6
青少年交換来日生 広島平和学習研修旅行 報告	7
高槻東RC 国際奉仕活動 報告	8
2022—23年度 ガバナー候補者推薦について	9
グローバル奨学生 近況報告	10
地区大会のご案内	11
公益財団法人米山梅吉記念館創立50周年記念特別寄付のお願い	12
ローターアクト活動報告	15
My ROTARY 登録率	16
コーディネーターニュース	17
ハイライトよねやま	18
敬弔・お知らせ	20



会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

四宮 孝郎

(大阪西南RC)



1月14日に開催されました国際協議会で、マーク・ダニエル・マローニー会長は今年度の強調事項の第1優先事項として「ロータリーを成長させること！これから多くの奉仕活動のプロジェクトを成長させる為には、会員基盤を成長させることが必須です。」と述べられました。

そして「この課題への答えは単に退会者の代わりに新入会者を増やすことではありません。穴の開いたバケツに水を注ぐのではなく、退会の根本原因を分析し、取り除くことにあるのです。」と続けられています。

近年日本各地で見られていることですが、期の途中には会員が一時的に増えても、期末に多くの退会者が出て、残念ながら最終的には会員数の増加につながっておりません。

当地区でも例外ではなく、残念ながら同じような現象に見舞われております。地区においてもクラブにおいても純増〇名という目標を期初に打ち立てることが多いのですが、実際には「新会員獲得」と「退会防止」に分けて考える必要があります。残念なことに当地区でも前年度において新会員0名というクラブがいくつかありました。この現象が続けば、言うまでもなく平均年齢は上がり続け、クラブの活力は低下せざるを得ません。今一度、職業分類制度を見直し、多様な会員を勧誘する必要があります。

また近年、国際ロータリーで強調されています多様性・柔軟性を自クラブに合った形で取り入れることも新たな会員獲得につながると思われます。

退会者の中には高齢や転勤等の理由による方がいらっしゃいますが、その他は残念ながら入会3年未満の会員に多いのが現状です。その退会理由として「仕事の多忙さ」を第一に挙げられることが多いかもしれませんが、隠された理由としては「寂しさ」にあると思います。

ロータリーに入会していなければ出会うことのなかった人びととの「つながり」、また職業上の機会という「つながり」を得ながらロータリーを去って行かれることは、とても悲しいことです。

新しくつながった仲間へ寄り添いましょう。そして新たな友人ができた喜びを分かち合いましょう。これが退会防止につながると信じております。

皆様のクラブが1人でも多くの新しい仲間を迎え入れられ、「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブとして輝いて行かれることを祈念申し上げます。

会員増強・ 新クラブ結成推進月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

藤井 眞澄

(大阪南RC)



8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。言うまでもなく組織にとって会員の維持拡大は活動の根幹をなすものであり、最重要課題であるといえます。ロータリーに限らずどのような団体でも会員増強の努力を怠れば活動が停滞し、いずれ行き詰まってしまいます。会員増強無くして地区ビジョンに掲げる「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブは目指せませんし、「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブを目指さなければ会員増強も図れません。

さて、当地区の会員数ですが、ここ数年は年度初め(7月1日)で3570名程度で推移しております。一応安定的に推移しているように見えますが、これは毎年度の入会者、退会者それぞれ300名近くある中で、たまたまバランスが取れているという見方もできると思います。今年度のマローニーRI会長がこのような状況を「穴の開いたバケツ」に例えられましたが、会員増強に真剣に取り組んでいる者にとってはいささか気になる表現ではあるものの的を得た言い方だと思います。バケツに注ぐ水が減ればバケツの水はたちどころに下がってしまうように、継続した会員増強の努力を怠ればたちまち会員数が減ってしまいます。

前年度(2018-19年度)を振り返ってみますと、各クラブのご努力もあり地区全体で332名という入会がありました。一方、大阪なにわRCの解散もあり残念ながら入会と同数の332名の方が退会され、前年度末の会員数は前年度初めと同じという結果になりました(My ROTARY 7/8 現在での集計値)。また例年、年度末(6月)にはひと月で年間の退会者の半数近くが退会されていますが、前年度末も約半数の162名の方が退会されています。またクラブごとに見ますと、会員数が増加したクラブが4割強、減少したクラブが4割強、増減なしが1割強となっています。このように前年度は地区全体として会員数は横ばいとなりましたが、各クラブの会員増強の努力に改めて御礼申し上げますとともに今年度もより一層の新会員の入会促進と既存会員の退会防止に努力していただき、会員増強に取り組んでいただきますよう改めてお願い申し上げます。

新会員の入会促進のポイントは会員一人一人が当事者意識を持ち、新会員を進んで推薦していただくことですが、そのためには会長、幹事、増強担当委員長などの強いリーダーシップの下でクラブ内に「増強しよう」という雰囲気を作っていくことが重要です。もちろんクラブ役員も率先して会員を推薦していただくことも大切です。前年度は2割近くのクラブで新会員の入会がありませんでしたが、今年度はぜひとも新会員の入会に向けて取り組んでいただきたいと思います。

また会員の維持、増強を図っていくうえで、会員候補者が入りたい、あるいは現会員が辞めたくない、といった「魅力あるクラブづくり」にも取り組んでいくことも大切ですので、会員増強と合わせて留意していただきますようお願いいたします。

前年度は当地区内で2つの衛星クラブが誕生しましたが、会員の多様化を図っていくためにも今年度も各クラブで必要に応じ衛星クラブの設立、あるいは会員種別の多様化なども取り組んでいただきたいと思います。

今年度の四宮ガバナーは、多様な会員の入会を促進するとともに、退会の理由を分析し退会防止につなげようという方針を出されています。各クラブにおかれましては、今年度の大幅な会員増を目指して、早期に実行プログラム策定し取り組んでいただきますようお願いいたします。

2019-20年度 RI第3地域戦略計画推進セミナー 報告

RI第3地域ロータリーコーディネーター
パストガバナー **高島 凱夫**
(大阪中之島RC)

今年度から「RI第3ゾーン・・・」から「RI第3地域・・・」にセミナー名が変更され、7月13日(土) ホテルグランヴィア大阪にて開催されました。ご存知のように“地域”は世界で41、“ゾーン”は34がありますが”ゾーン“はある特定の時に使用され、今回の様なセミナーの場合は”地域“を使うこととなります。

「地域戦略計画セミナー」は地域内のRC(ロータリーコーディネーター)、RPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター)、RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)が毎年交代で世話役を務め開催されます。2018～19年度は、横山PDGが直前RPICとして主宰され2年続きの大阪での開催となりました。

三木 明RI理事、北 清治財団管理委員、辰野克彦RI理事エレクト、第3地域11名の地区ガバナー、田村泰三RRFC、山下皓三RPIC、松本祐二EPNPC、佐藤芳郎E/EMGAが講演者となりそれぞれの分野の今年度の戦略計画、現況報告、問題点などを報告致しました。

基調講演者 本田博己氏(D2840PDG、2018年RI研修リーダー)には、氏が2840地区内で行った会員増強に対する意識調査結果をお話頂き、それに沿った会員増強、クラブビジョンの重要性について説いて頂きました。

11地区ガバナーの「今年度の地区戦略計画・ビジョン・運営方針・スローガン」などの発表は、各ガバナーの個性が大いに発揮され、また他地区の方針・現状を知るのに大変有意義な時間でありました。ガバナーのユーモアのある発表に場内も大いに盛り上がりました。

今回は第2660地区がホスト地区ということで、四宮孝郎DG、井上暎夫、若林紀男、横山守雄、泉 博朗、松本進也、片山 勉(ARPIC)各PDG、山本博史直前ガバナー、簡 仁一DGE、溝畑正信ARRFC、ガバナー補佐5名、ガバナー補佐エレクト5名、藤井眞澄地区クラブ奉仕・拡大増強委員長、樋口信治地区公共イメージ向上委員長、吉田政雄次年度地区代表幹事予定者、地区内クラブ会長・パスト会長20名、総勢44名のご出席を頂きました。

また、四宮DGのご厚意で地区幹事団、ガバナー事務所職員にも準備段階、当日会場設営のお手伝いをして頂き、セミナーが滞りなく終了することが出来ました。

2020～21年度はRRFCが担当され、2020年7月25日(土) ホテルグランヴィア広島で開催される予定です。



青少年交換委員会 来日生・派遣生歓送会 報告

2018-19年度 青少年交換委員会 委員長

生 沼 寿 彦

(大阪うつほRC)

- 日 時：2019年6月15日(土) ① 9:30～11:30 来日生J.TEST (実用日本語検定)
②11:30～13:00 ROTEX総会
③13:00～14:45 派遣候補生第8回(最終)オリエンテーション
④15:30～16:30 来日生日本語スピーチ発表会
⑤17:00～19:00 来日生・派遣生歓送会

場 所：上記①及び②はガバナー事務所、③はシティプラザ大阪4F「温」、④及び⑤はシティプラザ大阪4F「眺」

参加者：山本G、四宮GE、簡GN、横田地区学友委員長、来日生5名、派遣生5名、委員会関係者13名、ROTEX9名、ホストクラブ・ホストファミリー関係者31名 計67名

青少年交換委員会にとって今年度最後の事業が無事終了しました。午前中はガバナー事務所にて初の試みとなる実用日本語検定を来日生が受験し、そのまま来日生とROTEXがお弁当を食べROTEX総会が開かれました。その後場所をシティプラザに移し、派遣候補生の最終オリエンテーションを行い、候補生達は晴れて正式に派遣生となりました。

暫く時間を置いて、ROTEX主催による来日生による日本語スピーチ発表会が行われました。発表した5名は手元に原稿やプレゼン資料は用意していたものの、皆一様に流暢な日本語で話し、日本での驚きや思い出、1年間を通じた自分の心境の変化や成長、さらに各位への感謝の言葉を綴りました。この発表会ではROTEXの西井会長による開会宣言の後、山本Gにご挨拶を頂戴し、発表後には四宮GEに講評をお願いしました。

そして、スピーチ発表会後、歓送会を催しました。私の開会挨拶と共にご紹介した地区役員を代表して山本Gにご挨拶を頂戴し、乾杯のご発声は四宮GEにお願いしました。歓送会の後半は派遣生各位による決意表明に続いて、来日生と派遣生、ROTEXによる歌の披露、そしてサプライズとしてROTEX西井会長によるお琴の演奏のプレゼントもあり、大いに盛り上がりました。来日生のこの1年間の活動をROTEXが収めたショートムービーの上映では、みんなが懐かしさと共に感傷に浸ったり、爆笑したりと、思い思いに楽しんでいました。

最後に来日生には修了書、ホストファミリーや学校関係者には感謝状を贈呈し、松尾次年度委員長による大阪締めで終わりました。

尚、今年度限りで委員長を退任する私がROTEXより花束の贈呈を受けました。地区委員会の皆さん、ガバナー事務所のスタッフの皆さん、そしてROTEXの皆さんのおかげで良い経験と楽しい時間を共有させていただきありがとうございました。今回見送る来日生や派遣生、そしてROTEXの皆さんが将来ホストファミリーとして、自分たちがそうしてもらったように、留学生を受け入れて青少年交換の輪を繋いでいただけると確信しています。



2019年度

ロータリー米山奨学生学友会（関西）総会 及び 新規奨学生歓迎会 報告

米山奨学委員会 委員長 **廣瀬 彰久**
(守口RC)

日 時：2019年7月7日（日） 17:00～20:00

場 所：KKRホテル3階「銀河」

出席者：四宮孝郎G、公益財団法人米山記念奨学会副理事長若林紀男PG、高島凱夫PG、泉博朗PG、松本進也PG、
簡仁一GE、田中隆弥IM1組G補佐、古城紀雄IM2組G補佐、福田治夫IM3組G補佐、加茂次也IM4組G補佐、
各クラブ米山奨学関係者・学友会・地区米山奨学委員等総計170名

2019年度ロータリー米山奨学生学友会総会及び新規奨学生歓迎会が、2019年7月7日（日）KKRホテル大阪にて盛大に開催されました。学友の張昇勲さん（韓国）と奨学生のFabienne Simone Hoferさん（スイス）が司会を務めました。

まず、米山学友会（関西）会長のディネス シュレスト氏による「米山学友は現役・元奨学生共にロータリアンとの交流を通して国際親善に貢献する事です」との開会のご挨拶で始まり、続いてご来賓の紹介が行われました。

その後、国際的ロータリー第2660地区 四宮孝郎ガバナーによるご祝辞として「ロータリアンの皆様の貴重なご寄付により本年度も53名の奨学生の受け入れが出来ました。これからもロータリアンとの絆を大事にしてください」とお言葉を頂戴しました。

第一部の総会といたしましては ①2018年度活動報告②2018年度会計報告③2018年度会計監査報告④米山学友会（関西）新会長アリフ ザイニ氏選任⑤2019年度活動計画⑥2019年度会計予算⑦地区米山奨学委員会より寄付金目録贈呈が行われました。

引き続きの第二部の新規奨学生歓迎会の司会も、奨学生の劉強さん（中国）と陳卉雯さん（マレーシア）が進行を務め、公益財団法人米山記念奨学会副理事長 若林紀男PGによるご挨拶と乾杯のご発声を頂き賑やかに懇親会が開催されました。

懇親会は、奨学生の紹介や余興にて学友による音楽の演奏・歌・踊りの披露があり楽しい交流の時間となりました。今後とも、奨学生とロータリアンとの絆や交流が益々深まり、ロータリーの奉仕の精神を忘れることなく、国際社会で将来活躍することを期待しております。



2018-19年度 ロータリー学友会総会 報告

2018-19年度 学友委員会 委員長 **横田 孝久**
(東大阪RC)

日 時：2019年5月19日(日) 17:30～20:30

場 所：ヴィアーレ大阪 4F ヴィアーレホール【総会】、2F 安土の間【交流懇親会】

参加者：ロータリアン51名、学友79名、合計130名

当日は第一部の総会の中で、古川議長により次年度役員を選出信任を決議し、併せて今年度の活動を報告しました。また、河田会長エレクトより次年度活動計画ならびに予算案について発表しました。第二部の講演会では2001-02年度に交野RCの推薦により国際親善奨学生としてロンドンに留学され、現在は東京を拠点に国境を跨ぐフォトジャーナリストとして活躍されている写真家の渋谷敦志氏に「まなざしが会える場所へ～越境する写真家～」と題してご講演頂き、学友だけでなくご参加いただいたロータリアンの皆様にも熱心に聴いて頂きました。

集合写真の撮影後、場所を移して行われた交流懇親会では、講師渋谷氏の著作も紹介しました。本人が元財団奨学生ということもあり、彼と繋がりのある当時のホストクラブや財団関係者、ROTEXなど多くの方が彼を取り囲み、和やかな懇親会となりました。

レクリエーションプログラムの合間に、学友会への正式入会が済んでいない出席者に、新たに簡易化された入会方法を紹介し入会を呼びかけました。現在約130名を数える学友会会員ですが、これを機に一気に増員できれば幸いです。

設立から2年が経ち、ようやく学友会の活動も形になってきました。今後は更に新しく学友会らしい活動も取り入れ、財団奨学生やRYLA修了者、そしてRAC卒業者とロータリーを末永く繋いでいく受け皿となってくれることを期待しています。



青少年交換来日生 広島平和学習研修旅行 報告

青少年交換委員会 委員 **一由麻里**
(東大阪東RC)

2019年度、広島平和学習研修旅行が、2019年5月18日～5月19日の2日間行われました。参加者の来日学生5名、派遣候補生1名、ROTEX5名を地区委員6名が引率致しました。行程は西梅田を貸し切りバスで出発し、おさふねサービスエリアで昼食を取り宮島口港よりフェリーで宮島港へ渡り、厳島神社を見学しました。

今年は、はじめて宮島の「みやじま杜の宿」に宿泊しました。厳島神社やその周辺をゆっくり散策でき、来日学生達も、世界遺産に登録された日本の歴史的建造物や景観に「素晴らしい」「きれい」と声を上げていました。

翌日は、早くに宮島を出発し、原爆ドームや各碑を4名のボランティアガイドの案内で回り、最後に、平和記念資料館を見学しました。リニューアルオープン後、初めて資料館の全体を見学する事が出来ました。思ったよりもリアルな表現で展示されている展示物を見て、ショックを隠しきれない様子で、真剣に見て回る姿が印象的でした。その後、伝承講和を受講しました。今年は、日本語で、被爆経験者ではない講師の方がお話下さいました。若い世代の方が、被爆体験を後世の時代に語り続けるという硬い意思を持ってお話下さった内容は、学生達やROTEXの皆にも伝わったと思います。

来日学生と派遣候補生が1泊2日、行動を共にする事は、これから派遣される国の言葉や文化、派遣先の様子を知る上でとても参考になったと思います。ただ、毎年この時期が高校のテスト期間に重なる為、広島研修旅行の日程を変更したら、派遣候補生の参加も増えると思いますので、次年度への申し送り事項とさせて頂きたいと思います。



カンボジア学校へ安全な飲料水の提供と トイレの修繕・補修 プロジェクト

高槻東RC 国際奉仕委員会

高槻東RCでは、約10年前にシムリアップ州で8000人の子供たちに日本脳炎ワクチンを無料接種したプロジェクトを皮切りに、世界最貧国の一つであるカンボジアに注目しています。それまで州内に1台もなかった人工透析機をシムリアップ州立病院に3台と浄水装置を寄贈し、同病院にICU医療機器を寄贈したり、アジアアライアンスセンターに周産期エコーなどを寄贈するプロジェクトを実施してまいりました。

今回は、患者という括りよりも受益者数を増やしたい思いを検討した結果、学校への安全な飲料水の提供とトイレの修繕・補修をホストパートナー：アンコールRC、国際パートナー：台北エリートRCでプロジェクト化することになりました。台北一甲RC、台北群星RC、台北信義RCの他、当クラブ姉妹クラブである、福島・須賀川RC、台北南徳RC、そして2660地区から守口イブニングRCも共同提唱者となっただき、RID3350、3481、3523、3610の4地区補助金を活用し、総額US\$97,650のプロジェクトとなりました。

1000万円を超える大きなプロジェクトの上、6重点項目のうち“水と衛生”分野はTRFで年々審査が厳しくなっており、GG申請書作成、追加資料の提出などで承認を受けるまで約1.5年かかりました。

今回2019/05/21シムリアップ州Krolanh Cu小学校におけるGG#1871050プロジェクトの記念式典に参加してまいりました。該当小学生、ボーイスカウト、赤十字サポーターの学生、地元住民など約250名が参加し、またシムリアップ州知事夫人であるシムリアップ赤十字社総裁も記念式典にご出席頂き、立派な式典が開催されました。

アンコールRCはEクラブでマンパワーがありません。しかしながら、今回のプロジェクトとは別に、お米を5.5トン、ブランケット1500枚をアンコールRCはシムリアップ赤十字社経由でKrolanh Cu地区住民やシムリアップ州立病院入院患者家族に寄贈することで、そのコネクションを活用し、記念式典ではうまくマンパワーを補完していたことは賞賛に値し、Eクラブの可能性を感じました。また、当プロジェクト該当学校訪問をし、建設予定などを確認し、いくつかの問題点も発見することができました。

このほか、過去プロジェクトを実施したシムリアップ州立病院視察、高槻アート博で毎年巨大絵画を出展頂いているスナードイクマエ孤児院の訪問など2泊で大変タイトなスケジュールでしたが、ご参加いただきました須賀川RC菊地国際奉仕委員長、守口イブニングRC柳本副会長、小林様、そしてRID2660元国際親善留学生でプノンペンメトロRC西口様にご参加いただきましたこと厚く御礼申し上げますとともに、ご協力いただいたロータリークラブ、シムリアップ赤十字社の関係者及び全ての方々に深く感謝します。

これから12校で工事が進んでいきます。無事プロジェクトが終了できますよう全力を尽くす所存です。





2022-23年度 ガバナー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **四宮孝郎**
(大阪西南RC)

地区ガバナー指名委員会 委員長 **山本博史**
(大阪南RC)

RI細則第14条14.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2022年-23年度ガバナー候補者がおられましたら、2019年10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、2022-23年度に地区ガバナーにノミネートされるための資格条件については、RI細則第16条16.070、16.070.1～16.070.5の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された候補者に限定されるものではない、ということをご了承下さい。

RI細則第14条14.020.5(参照)

グローバル奨学生 近況報告

2018-19年度 グローバル奨学生 高城大吾



2018-19年度グローバル奨学生の高城大吾です。英国サセックス大学院留学の近況につきまして、以下の通り報告いたします。

2学期には、実験心理学コースの以下4教科を受講しました。

社会心理学、臨床心理学と心の健康、脳構造と行動への影響、調査手法(定量調査、定性調査)

6月10日に4教科の試験が終わり、卒業論文のデータ収集を再開することができました。今回のご報告では、卒業研究の内容について簡単にご紹介させていただきます。現在実施しているのは、「行動感染(Behavioral Contagion)」についての調査で、グループ別の行動感染傾向の違いを調査しています。具体的には、利他的行動の広がりについてグループ別の違いが生じるかどうかについて調べています。紛争後や自然災害後の支援を実施する際、難民として避難してきた住民と、受け入れ側の住民が協力し合うことが頻繁にあります。ただ、グループ別の行動研究は、ステレオタイプ、偏見、差別行為など、ネガティブな側面についての研究が多く、利他的行動など社会的な行動についての研究は限られています。グループ別の利他的行動の広がりに関する研究を通して、避難者と受け入れ側の住民の関係性について、心理学の側面からより深く知ること、今後関わる支援にも役立てたいと考えています。6月21日に、データ収集で目標としていた約100名の方へのインタビューを終えることができました。今後、収集したデータを分析し、8月中旬に論文を提出する予定です。

また、2学期中も、ブライトン地区RCの皆様との交流が続いています。2月21日には、「RCグローバル奨学生夕食会」に招待いただき、これまでの支援活動や大学院での研究内容についてプレゼンテーションを行う機会をいただきました。ブライトン地区RCは、9名のグローバル奨学生を受け入れてくださっています。その奨学生の多くがサセックス大学の国際開発学部の生徒で、博士号進学を検討している方もいれば、国際ジャーナリスト、人権問題の活動家を目指している方もいます。留学生の出身国も様々で、日本のみでなく、イタリア、台湾、アメリカからサセックス大学に学びにいられています。これまでの経歴や目指すキャリアも異なるため、奨学生の皆さんとの交流を通して、新たな見地に触れて刺激を受けることができている。また、アフリカのザンビアで共通の知り合いを持つ方や、クーデター後のトルコに滞在していた方に出会い、地域事情の話が広がるなど、世の中は広いようで狭いと実感する機会にもなっています。

残りの留学期間、全力で卒業研究に取り組みたいと思います。改めて、このような機会をいただきありがとうございます。



前年度・本年度のグローバル奨学生との集合写真。
ブライトン地区RC事務所で開催された
「RCグローバル奨学生夕食会」にて(2月21日付)



同じく前年度・本年度のグローバル奨学生との集合写真。
定期的な交流を通して、お互いの学業分野について情報交換を
しています。



Stand by you
—あなたと共に—

2019-2020年度 国際ロータリー 第2660地区

地区大会

2019年 13日 金
12月 14日 土

リーガロイヤルホテル
(大阪)
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68
TEL: 06-6648-1121

グランキューブ大阪
(大阪府立国際会議場)
〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL: 06-4803-5555



ホストクラブ: 大阪西南ロータリークラブ

公益財団法人 米山梅吉記念館 創立50周年記念特別寄付のお願い

謹啓

平素は米山梅吉記念館の運営に一方ならぬご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承の通り当記念館は、日本におけるロータリーの創始者米山梅吉の遺徳を顕彰し、もってロータリー精神の育成普及に努める目的で1969(昭和44)年に財団法人として設立された記念館です。当初建築の記念館(旧館)は狭く、お越しくださっても例会を開くこともできずご不便をおかけし、築後約30年を経過し老朽化も目立つことから新館建設が計画され、1998(平成10)年に現在の記念館(新館)が落成いたしました。

お陰さまで皆さまのご理解により、米山奨学生の研修、館での移動例会、またクラブや米山梅吉を慕う皆さまにお越しいただき、年間約150クラブ、4,000名以上のロータリアンが集い、少しずつながら来館者が増えてきております。

今年はこの新館も21年目となり、さらには9月16日に記念館創立50周年を迎えることから、これを機会として、米山梅吉の一生を貫く先見性・奉仕精神、時代を的確に捉えた活動の数々を通して、また子煩悩な家庭人としての温かみのある人物像などを通して、米山の遺徳や人となりをより詳しくお伝えできる記念館とするべく力を尽くしてまいり所存でおります。記念館創立50周年にあたり、事業の拡大を図るとともに記念事業の概要(別紙)をお示しし、その資金調達にむけて全国ロータリアンの皆さまにご寄付のお願いをさせていただきたく存じます。

これまでの経緯においては、文科省認可のロータリー米山記念奨学会と静岡県認可の米山梅吉記念館が、運営・資金面においても全く異なる組織であることのロータリアンへの周知不足もあり、ご意見やお叱りをいただいたこともございました。

それらの反省の上に50周年を新生の機会とし、皆さまのお力添えをいただきながら、記念館を「ロータリアンの心の故郷」として、また「日本におけるロータリーの拠点」として認知いただけるよう努力してまいり所存でおります。

今後とも一層のご理解ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

なお本状と行き違いにてご送金いただいた場合は、失礼をお許しください。 敬白

2019年6月吉日

公益財団法人米山梅吉記念館

理事長 積 惟貞

米山梅吉記念館創立50周年記念実行委員会

委員長 井上 雅雄

米山梅吉記念館創立50周年記念事業 ご寄付のお願い

募金目標金額

別紙「記念事業の概要」の実施に係る金額(2020-2021年度期末までに7,700万円)を募金目標としております。ご理解くださり、目標達成にご協力賜れば幸いに存じます。

ご寄付のお願い

*ロータリークラブ様には、クラブ任意の金額のご寄付をお願いします。

(これとは別に周年記念などでのご寄付もよろしくお願いいいたします)

*法人寄付 1口 10,000円(10,000円以上の任意ご寄付もよろしくお願いいいたします)

*個人寄付 1口 3,000円(1口以上の任意ご寄付もよろしくお願いいいたします)

なお個人寄付につきましては、出来ましたらクラブ単位での取りまとめをお願いいたします。

振込先 静岡銀行 長泉支店 普通預金 0082637

口座名 公益財団法人米山梅吉記念館50周年寄付金 理事長 ^{セキ コレサダ} 積 惟貞

ATMご利用の場合には口座名義

ザイ)ヨネヤマウメキチキネンカン 50シュウネンキフキン にお振込みください。

*恐れ入りますが、振込手数料はご負担をお願いします。

*クレジットカードでの決済をご希望の場合には、記念館までお問い合わせください。

*米山梅吉記念館50周年寄付金 は、記念館に直接お持ち頂くことも可能です。

- ・高額寄付者(クラブ、団体、法人様30万円以上、個人10万円以上)には米山梅吉記念館功労賞をお贈りさせていただきます。
- ・ご寄付下さいました方全てのご尊名を当館発行の広報印刷物などに掲載させていただきます。(掲載を希望されない方は寄付時にお申し出ください)

寄付金の税制優遇措置

当法人への寄附金は、「特定公益増進法人への寄附金」として取り扱われ、所得税・法人税・相続税及び条例による地方税の優遇措置が受けられます。

■法人税の場合／法人においては、税制上損金として扱われます。なお、申告に当たっては、法人税確定申告書に寄付金控除明細書の添付が必要となります。

■個人所得税の場合／個人においては、税制上の優遇措置を受けるためには、所得税の確定申告が必要です。確定申告に当たっては、所得控除を受けるため「寄附金領収書」の添付が必要となります。

なお、米山梅吉記念館から発行された領収書は、原則として再発行できません。

<控除額> 所得控除額=年間の寄付金総額(注) - 2千円

(注)年間総所得金額等の40%が上限となります。

お問い合わせ先 公益財団法人 米山梅吉記念館
TEL.055-986-2946 FAX.055-989-5101
E-mail: yumh@ai.tnc.ne.jp

米山梅吉記念館創立50周年 記念事業の概要

ロータリアンの皆さまがお寄せくださる寄付金は以下の事業に活用させていただきます。

1) 2階建て書庫新築(増築)と展示室リニューアル

現在の記念館建物の北側に2階建ての書庫・資料室等を増築し、可動式書棚、書籍資料等に移します。

それにより読書・研修室および展示室をリニューアルして展示の充実に努めます。

2) 米山梅吉の遺徳顕彰のための書籍出版

『米山梅吉ものがたり』 編集・出版 銀の鈴社 出版予定 2019年4月
緻密に取材し執筆した、米山梅吉の一生を物語としてお読みいただける本です。

『米山梅吉 遺しし言の葉』 編集・出版 米山梅吉記念館 出版予定 2019年9月
米山のロータリーでの挨拶、演説から部分抜粋し、原文と現在文を並記した本です。

3) 来館者案内用および記念館広報用ビデオ制作

記念館案内用ビデオ制作

ロータリアン来館時にご覧いただく米山梅吉の生涯を簡潔にまとめたビデオです。
これをご覧いただいた後に、館内展示をご覧いただきます。

記念館の広報用ビデオ制作

一般の方々に記念館の概要と米山梅吉について知っていただくためのビデオです。

米山梅吉の縁故者、研究者などへのインタビュー記録制作

米山梅吉に関する伝聞を含めての記憶や人となりをお聞きできる方々は時間の経過とともに難しくなりつつあります。三井銀行、三井信託、三井報恩会、青山学院など、米山が関わったこれらの時期をご存じの方々へのインタビューを記録する事業です。

4) ロータリー日本の学術拠点づくり

100年を迎えるロータリー日本の新たな時代を拓く一助に資するべく、日本全国のロータリー研究者、米山梅吉研究者などの協力を得ながら、記念館独自の学術集積・発信機能を持つ学術拠点を新設いたします。

5) 記念館創立50周年記念式典の開催

日時:2019年9月14日(土曜日)

会場:東レ総合研修センター(三島市)および米山梅吉記念館

地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト代表 **上村優太**
(守口RAC)

新年度に向けて下記の日程で
「リーダーシップフォーラム」を開催いたしました。

日 時：2019年6月2日(日) 12時30分～16時
場 所：此花区民センター
参加者：100名
ホストクラブ：守口 RAC



第一部

第一部では、2019-20年度の地区ターゲット発表に加え、今年度の方針、年間スケジュール、地区表彰基準、東西のゾーンターゲットを会員に向けて説明しました。地区ターゲットの「彩」には各クラブと会員一人ひとりの個性に焦点を当て、このクラブだから、このメンバーだからこそ出来る創意工夫によりRAC活動に更なる色付けを行いたいという想いが込められています。

第二部

[広報委員会]

2018-19年度に新たに生まれた地区広報委員会より、一年の取り組みと成果を報告し次年度の方針を発表しました。昨年度はガバナー月信と地区ホームページの更新に加え、SNS部門としてフェイスブックとインスタグラムを使用し、地区の活動や魅力を発信してまいりました。今年度はリアルタイムで活動風景を届けたいという思いからYouTubeの動画やインスタグラムのライブ配信機能も利用し発信を行う予定です。また、インスタグラムの更新について、今後の投稿は日本語だけでなく、英語、中国語、韓国語の四ヶ国でも語対応してまいります。リーダーシップフォーラムでは早速インスタグラムのライブ配信機能を利用して中継を行いました。

[地区献血活動]

7月21日(日)に控えている第一回地区献血活動について、ホストクラブの寝屋川RACから説明を行いました。また、当日の献血活動で使用する献血ポスターをクラブごとに分かれて自由に作成しました。こちらの献血活動ですが、1994年から続く伝統行事なので、今年度も気合十分に取り組んでまいります。今回より献血活動の呼びかけに加え、RACの魅力を一般の方々に伝えるための広報企画も現在進めています。

[分科会]

三役理事部門、新人部門、広報部門の分科会を行いました。今年度から三役に加え、各クラブ一名、広報担当という新しい役職が加わったことで新しいかたちでの分科会となりました。最後に、各分科会に出席した会員一名ずつステージに上がり、分科会で学んだ内容を参加者全員に向けて共有しました。

2019-20年度も RAC 一同、精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2019年7月度]

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第1組	池田	30	26	86.7%
	池田くれは	34	32	94.1%
	箕面	29	20	69.0%
	箕面千里中央	20	8	40.0%
	大阪水都	40	26	65.0%
	大阪中央	58	58	100.0%
	大阪北梅田	60	31	51.7%
	大阪北	193	121	62.7%
	大阪大淀	36	20	55.6%
	大阪そねざき	32	16	50.0%
	大阪梅田	37	21	56.8%
	大阪梅田東	32	27	84.4%
	豊中	37	27	73.0%
	豊中千里	36	24	66.7%
	豊中南	22	13	59.1%
	合計	696	470	67.5%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第4組	東大阪	74	61	82.4%
	東大阪東	58	37	63.8%
	東大阪西	30	6	20.0%
	東大阪中央	19	16	84.2%
	東大阪みどり	22	7	31.8%
	大阪柏原	28	11	39.3%
	大阪御堂筋本町	47	24	51.1%
	大阪難波	56	27	48.2%
	大阪ネクスト	23	14	60.9%
	大阪南	179	151	84.4%
	八尾	63	44	69.8%
	八尾中央	11	8	72.7%
	八尾東	27	6	22.2%
	合計	637	412	64.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第2組	茨木	29	23	79.3%
	茨木東	37	14	37.8%
	茨木西	30	26	86.7%
	大阪東淀ちゃやまち	22	8	36.4%
	大阪淀川	25	7	28.0%
	千里	29	18	62.1%
	千里メイプル	20	13	65.0%
	摂津	32	9	28.1%
	新大阪	33	28	84.8%
	吹田	60	56	93.3%
	吹田江坂	30	23	76.7%
	吹田西	49	48	98.0%
	高槻	48	39	81.3%
	高槻東	37	34	91.9%
	高槻西	19	15	78.9%
合計	500	361	72.2%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第5組	大阪堂島	41	33	80.5%
	大阪フレンド	21	10	47.6%
	大阪みおつくし	14	7	50.0%
	大阪西北	33	19	57.6%
	大阪リバーサイド	33	33	100.0%
	大阪船場	34	22	64.7%
	大阪心斎橋	38	25	65.8%
	大阪西南	105	73	69.5%
	大阪ユニバーサルシティ	38	31	81.6%
	大阪アーバン	28	28	100.0%
	大阪うつぼ	38	30	78.9%
	大阪西	103	61	59.2%
	合計	526	372	70.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第3組	大東	38	26	68.4%
	大東中央	25	6	24.0%
	枚方	47	18	38.3%
	門真	27	13	48.1%
	交野	34	14	41.2%
	香里園	16	12	75.0%
	くずは	83	82	98.8%
	守口	42	14	33.3%
	守口イブニング	25	4	16.0%
	寝屋川	37	7	18.9%
	大阪東	126	93	73.8%
	大阪城東	34	17	50.0%
	大阪城北	58	34	58.6%
	大阪鶴見	30	22	73.3%
合計	622	362	58.2%	

	クラブ名	会員数	登録人数	%
I M 第6組	大阪	257	65	25.3%
	大阪イブニング	15	11	73.3%
	大阪平野	47	41	87.2%
	大阪城南	44	43	97.7%
	大阪中之島	35	33	94.3%
	大阪大手前	25	25	100.0%
	大阪咲洲	18	17	94.4%
	大阪東南	35	26	74.3%
	大阪天満橋	48	29	60.4%
	大阪天王寺	52	26	50.0%
	大阪帝塚山	46	25	54.3%
合計	622	341	54.8%	

	会員数	登録人数	%
2019年 7月 8日	3603	2318	64.3%



2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015-16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願い致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介します。

剣田廣喜氏 (RID2630 2016-17年度ガバナー、ニックネームKEN)

神野重行氏 (RID2760 2017-18年度ガバナー、ニックネームSHIGE)

松坂順一氏 (RID2580 2018-19年度ガバナー、ニックネームJUN) の3名の方々です。

各地区の様々なセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、出来る限りのサポートをさせていただき所存ですので、お気軽にお声がけをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大やローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これらの情報発信を強化したいと思います。

些か、旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てにと、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーでは是非、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代にあったクラブの拡大は各地区の会員増強にとって大変、実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを取るのが難しいと感じています。例会時間や昼食の選択性など若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、ガバナー、エレクト、ノミニーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は、既存のクラブが存在する地域にあっても、時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。是非、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたいと思っています。

また、「ロータリーの友」11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。同年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブに置かれては会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリーコーディネーター 水野 功

ロータリーファミリー全員によるファンドレイジング - 『ワールド・フード+ふれ愛フェスタ』(WFF)

当地区では毎年名古屋市中心部の公園でファンドレイジングのイベントを開催しています。第6回は昨年10月27日と28日の2日間。好天に恵まれ、約7万人の来場者で盛り上がる中、協賛チケット、広告協賛、会場での寄付金などすべて前年度を上回り過去最高を記録しました。収益金は毎回ポリオ根絶への寄付とアジアの子供たちへの支援事業に使われており、今回はポリオ根絶基金への寄付(2万ドル)に加えパキスタンでの教育支援(3万ドル)を行いました。

地区内のロータリアンのほかインターアクター、ローターアクターや米山奨学生をはじめすべてのロータリーファミリー全員が協力するお祭りで、会場内に多数仕込まれた「あと少し」の広報パネルとともに「ロータリーの認知度&公共イメージの向上」という大きな役割も果たしています。

特に昨年は『ポリオ根絶大使』のジュディ・オングさんにもご参加いただきポリオ根絶活動について熱弁を振るっていただくとともに募金活動に参加いただきました。またジュディさんを招いてのチャリティディナー『エンドポリオ・ナイト』ではパキスタン、フィリピン、インドネシアから集まったロータリアンたちを含め200名を超える出席者たちから多額の寄付が集まりました。

収益金で寄贈したRotary Mobile Library Unitには図書やタブレット、LEDスクリーンその他、ポリオワクチンの保冷庫も装備されており、遠隔地での教育支援とポリオ根絶の2つの役割を担っています。5月に当地区からの有志6名がパキスタンを訪れ、4台を寄贈してきましたが、必死にポリオ根絶や人道的支援活動に取り組む現地ロータリアンたちの熱い姿と温かいもてなしに感動したそうです。

ポリオ根絶まで『あと少し』。当地区では今年度もWFFの収益金でポリオ根絶基金への寄付とパキスタンでの教育支援事業を行います。そしてWFFを通してロータリーの認知度&公共イメージの向上をめざします。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一



理事会開催報告 — 2020 学年度は 860 人採用 —

6月12日、全国から理事29人、監事3人および小沢一彦名誉理事長が出席し、第22回理事会が開催されました。

齋藤直美理事長の進行の下、主な議案として、2019 学年度奨学生採用の件、業務委託規程・覚書の件、2020 学年度奨学生採用数と募集要項の件、2019 年度事業計画案・収支予算案などが審議されました。継続審議となった業務委託規程・覚書の件を除いて、その他の議案は原案通り承認され、2020 学年度の奨学生採用数は、前年度比10人(枠)増の860人(枠)とすることなどが決定しました。

昨年8月の理事会で「議案以外のことについても意見交換して、理事会を活性化させたい」との意見を頂いたことから、議事終了後は、「学友」としての意識付けをいかに図るか」など、40分にわたり、活発な意見交換が行われました。



帰国学友歓迎会 & 日本人奨学金 — 韓国米山学友会 —

韓国米山学友会が5月18日、毎年恒例の「帰国米山学友歓迎会」を開催しました。この会は、今年韓国へ帰国した元米山奨学生を歓迎する会で、今回は帰国・新規学友5人を含む25人が参加しました。

また、当日は、同学友会が支援する日本人奨学生3人(梨花女子大学 通訳翻訳大学院2人、東国



大学 仏教大学院1人)も参加し、全員の前で奨学金が授与されました。この奨学金は2016年、米山学友たちの恩返しの気持ち、そして、日韓の懸け橋となる若者を支援したいとの考えから設立され、同学友会ではこれまでに累計11人の日本人を支援しています。

寄付金速報 — 今年度の送金はお早めに —

5月までの寄付金は前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:4.5%減)、約3,910万円の減少となりました。5月単月の特別寄付金が前年度と比較して1,570万円減少したため、前年同期比の累計額も先月に比べて減少幅が大きくなっています。

2018-19年度も残り約半月です。普通寄付金上期・下期ともにまだご送金されていないクラブは、6月28日(金)までに当会の銀行口座に入金記帳されるようお送りください。引き続き、今年度も最後までご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

【訃報】 名誉理事長 末永直行氏 逝去



当会名誉理事長（元理事長）の末永直行氏が、5月14日にご逝去されました。96歳でした。

末永氏は1959年に福岡西RCに入会され、1970-71年度ガバナー、1982-84年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。当会においては、1973-77年度理事、1977-87年度常務理事、1987-92年度副理事長、1992-2001年度には第

3代理事長をお務めいただくなど、実に30年近くの長きにわたり、米山記念奨学事業のために多大なご貢献をいただきました。記録に残された発言の数々は、米山奨学事業が今後アジアにおける日本の信頼を確保し、真の知日派・親日家を世界に根付かせていく期待に満ちています。ご遺志により、葬儀・告別式は近親者のみですで行い、後日、お別れの会が開かれるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

学友会のコラボ活動 — 第2610 & 2650地区 —

第2610地区（石川・富山）と第2650地区（福井・京都・奈良・滋賀）の両米山学友会による共同イベント、「みんなの交流会」が5月25～26日、石川県羽咋市内で行われました。

この交流会は昨年続く2回目の開催で、今年は学友・奨学生・ロータリアンら36人が参加。格闘技エクササイズやうちわ作りなど、参加者による自主企画のプログラムを中心に、交流を深めました。また翌日は、能登の海岸清掃活動を2時間かけて行い、さわやかな汗を流したとい



うことです。

第2610地区米山学友会の董又碩^{ドンウソク}会長（2012-14/能美RC）は、「われわれ第2610地区米山学友会としてはこれが初の公式な奉仕活動で、それを第2650地区との共同行事で行うこ

とができたことは、とても意義深いと感じました。米山学友が力を合わせて地域に貢献する活動ができたことが本当に嬉しく、これからも定期的に奉仕活動しよう！と意気投合しました」と、語りました。

“絆 in モンゴル” 直前情報

7月27日・28日にモンゴルの首都ウランバートルで開催される米山ファミリーの集い「絆 in モンゴル」には、おかげさまで多くの皆様から参加登録をいただきました！

ホスト国モンゴルはもとより、日本各地、台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、ベトナムなどからも多くの学友が参加。また、これまでに200人超のロータリアンの登録をいただき、全体では450人規模の大きな祭典となりそうです。

27日の式典・懇親会では、参加者の皆さんに

楽しんでいただこうと、モンゴル伝統の音楽・舞踊や各学友会の紹介などが予定されています。また、28日の遊牧祭も個人ではなかなかできない体験です。このほか、参加者からの要望に応じて、26日には実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさんが理事長を務める「新モンゴル学園」の見学ツアーも企画中とのことです。

なお、航空券やホテルをご自身で手配される場合は、登録はまだ受付可能です。ご希望の方は、mongolianyoneyama@gmail.comまで。

お知らせ

■茨木西RC

会長 交代

秋田 典俊 → 田村 英明

■ガバナー月信 7月号

訂正

ガバナー月信 7月号P30～31「国際ロータリー第2660地区ロータリークラブ一覧表」の提唱ローターアクトクラブまたはインターアクトクラブの印が抜けているクラブがございました。お詫びして訂正いたします。

大阪東RC提唱：ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ(大阪中之島RCとの共同提唱)

大阪北RC提唱：ローターアクトクラブ

大阪南RC提唱：ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ

大阪西RC提唱：ローターアクトクラブ

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

2019-20年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

事務所スタッフ

ガバナー	四宮 孝郎	事務所長	五味 千秋	
地区代表幹事	高谷 晋介	事務所員	栗正 久美	井上 望美
地区副代表幹事	吹田 康雄		船橋 美紗子	杉本 亜鶴巳
	上田 勝嗣		武井 知子	

所在地

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館 6階
TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

ホームページ

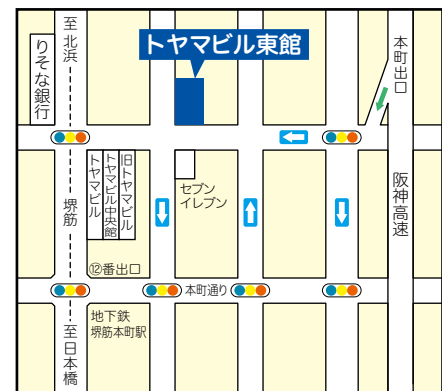
<https://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間

9:30~18:00

休日

土曜、日曜、祝日
夏季休暇 8/13~16
冬季休暇 12/30~1/5



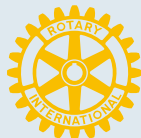
※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております(最多36名)。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

- ガバナー 四宮 孝郎 (大阪西南RC)
- 地区代表幹事 高谷 晋介 (大阪西南RC)
- 地区副代表幹事 吹田 康雄 (大阪西南RC)
- 地区副代表幹事 上田 勝嗣 (大阪西南RC)
- 担当地区幹事 仲庭 昭一 (大阪西南RC)

Rotary



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館 6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp